

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：木津川市）

タイトル	【介護予防】介護予防サポーターによる体操教室の普及と地域展開
------	--------------------------------

現状と課題

本市では、第8期介護保険事業計画で「介護予防と健康づくりの総合的な推進」を基本目標とし、平成28年度より介護予防サポーター養成事業を実施し、令和5年度で8年目となります。介護予防サポーター養成者は令和5年度末で256人、養成後のサポーターによる体操教室は市内29カ所（令和4年度と同数）、教室参加者は累計2,927人と年々増加している状況です。

高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、サポーターが教室の担い手となることにより自身の生きがいつくりにも繋がることから、事業を継続するために、今後も体操教室の普及・啓発に努め、各地域の身近な場所での開催を増やしていく必要があると考えます。

第8期における具体的な取組

- ・介護予防サポーター養成により、運動・栄養・口腔等介護予防と健康づくりに関する知識を習得し元気アップ体操を地域で広める。
- ・住み慣れた生活の場、身近な場所での住民主体の体操教室を開催する。
（サロン活動の推進）

目標（事業内容、指標等）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体操教室開催箇所数	22カ所	23カ所	24カ所
介護予防サポーター数(延べ)	210名	220名	230名

目標の評価方法

- 時点
 中間見直しあり 実績評価のみ

- 評価の方法
 介護予防サポーター数をカウント

評価区分	◎	数値目標に掲げている指標の実績が、目標+21名~30名以上
	○	数値目標に掲げている指標の実績が、目標+11名~20名
	△	数値目標に掲げている指標の実績が、目標+1名~10名

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：木津川市）

年度	令和5年度
-----------	-------

実施内容

- ・開催されている体操教室（サロン活動）の実態調査：各体操教室の開催状況確認
- ・介護予防サポーター養成講座の実施：8月3、10、24、31日、9月7、14日
- ・介護予防サポータースキルアップ講座：9月21、25、28日、10月2、5日
- ・介護予防サポータースキルアップ研修会：11月21日、令和6年3月1、22日

自己評価結果

【◎】

- ・令和5年5月に新型コロナが5類に移行されて以降も、各体操教室ではマスクの着用協力、消毒液の設置等、感染対策を行い、教室開催が継続されている。
- ・教室数は、29か所（拠点開催6か所、地域開催23か所）と令和4年度同様であるが、教室参加人数は年々増加している。（R4:182名、R5:213名）
- ・介護予防サポーター養成者数も前年度に比べ増加した。（R4:+17名、R5:+26名）
- ・市内だけでなく近隣町からの要望での活動実績もあり、サポーターの活動範囲が広がっている。

実 績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体操教室開催箇所数	23か所	29か所	29か所
介護予防サポーター数(延べ)	213名	230名	256名

課題と対応策

【課題】

- ・男性の介護予防サポーターが少ない。
→男性サポーターが増加することで、男性が参加しやすい環境を作る。
- ・介護予防サポーター養成講座募集対象を40歳以上の市民としているが、40～50歳代の壮年期相当の応募者が少ない。
- ・地域開催の教室数が徐々に増加しているが、今後も身近な場所での体操教室を増やしていきたい。

【対応策】

- ・体操教室のチラシ配布、市広報への掲載等により体操教室の普及・啓発に努める。
- ・より身近な場所で気軽に通える教室を増やす、地域開催数の増加を目指す。
→サポーターのスキルアップ、地域のサロン等で体操を普及していく。